



今 滝（湯梨浜町北福）



今滝を前に滝床料理を親しむ旅行客

9月定例会

一般質問 3人の議員が問う

2面

ケーブルビジョン東ほうき調査特別委員会を設置

7面

常任委員会の審議内容

9面

湯梨浜町飲酒運転撲滅宣言を決議

11面

3人の
議員が問う

一般質問ここが聞きたい!!



9月定例会風景



宮脇町長



吉田議員



会見議員



増井議員

質問議員の順序と主要項目

平成18年9月定例会は、9月29日に開会され、第18日目の10月16日に一般質問が行われた。

質問議員3人が登壇し、町政全般について熱心に議論を展開した。

各議員の質問項目、要約は次のとおりである。

吉田議員

- ①敬老会のあり方について
- ②町道の除草管理について
- ③町税等徴収金の滞納整理について

會見議員

- ①湯梨浜町における防災計画について
- ②男女共同参画プランにより、参画社会の実現をめざす為の支援について
- ③高齢者の生きがい支援について、協働の町づくりについて

増井議員

- ①子育て支援について
- ②高齢者の生活を守る町独自の施策をつくってはどうか

※吉田議員の③、會見議員の②の質問は紙面の関係上未掲載とします。

◎敬老会は町の主権とすべきでは

A町と地域が一緒になって 長寿を祝う



吉田礼治議員

湯梨浜町は、敬老会についての詳細な調整がな
いまま合併した。

平成17年度から2年間は、町の補助事業で各地区、公民館まかせて敬老会が実施された。戦中戦後の混乱した時代から今日まで我が国の繁栄の礎を築いてこられた高齢者の長寿を祝うべき敬老会が、町の主催ではなく、地区に丸投げというやり方は、高齢者の皆さんに対してあまりにも失礼で思いやりに欠け、湯梨浜はひとつという町長の理念に反しているのではない
か、町長の高齢者に対

する姿勢について伺う。
成人式と同様に、敬老会も町の主催事業とすべきと考えるが、町長の見解を伺う。



宇野地区敬老会
(10月14日)

答弁(町長)

敬老会は、昨年度から各地区及び地区公民館にお願いし、町の補助事業として実施、町の職員も下支え的な形で積極的に協力している。合併前は行政主催の行事として開催され、地域の役員の皆様にも協力していただいていた。本年の各地域の敬老会を見ると、特色を

出され、お年寄りに大変喜んでもらっており、役員の方々に改めて敬意を表したい。長年にわたって、今日の町や地域の基礎と発展を築き、支えてこられた高齢者の長寿を祝う会を町として行うべきという意見もあるが、町としては、町と地域の皆様と一緒に祝う敬老会を開催したい。

◎山間部の町道の除草管理は

A現物給付制度の創出も

考えてみたい

合併以来、町の予算は各種経費が節減され、町道の維持費も節減の対象となっており、山間部の町道は夏草に覆われて荒廃が進んでいる。

合併前は、町道筒地原線は、村から区に補助金が出され、区の事業として区民の手で草刈作業を

したり、村民に委託して除草管理をしたりしてきたが、合併後は町予算の削減で沿道は荒れ放題となっている。このまま放置すれば道路の見通しは悪くなり、交通事故も心配される。
シルバー人材センターや一般市民の希望者に公

募で委託すれば、業者に発注するより安くできると思うが、町長の見解を伺う。

答弁(町長)

町道延長207kmの内、山間部は12路線で約24kmである。農地等に隣接する町道の草刈は、ボランティアで実施していただき感謝している。山間部は、車道に影響のある所、危険箇所等は職員により現地対応している。

転車競技会が開催されたため、ボランティアで除草を行った。また、泊小学校から原の間の路肩の土砂撤去や除草は、維持業者により実施した。
今後において、引き続き地域や農地所有者のご理解とご協力をお願いし、山間部町道等の安全通行に支障の恐れのある箇所は、シルバー人材センター等により除草を行っていききたい。

筒地原線は維持管理に苦慮している路線であるが、今年はその路線で自

なお、ボランティア活動を助長するための現物給付制度の創出なども考えてみたい。



シルバー人材センターによる草刈り作業

◎本町の災害時要支援者対策は

【A】国のガイドラインを

参考に整備



會見祐子議員

ユアルが作られていると思うが、本町の備蓄・準備など、どのような取り組みがなされているか伺う。

答弁（町長）

防災会議の組織は、防災会議条例で定められており、行政機関内の職で充てられているものが多く、男女の委員の構成が偏っているのが現状である。同条例には、専門委員をおくことができるという規定があり、必要に応じて、女性の委員の就任をお願いしたいと考えている。

災害発生時には避難所において、高齢者・乳幼児や子供・授乳期の母親、トイレの問題などで女性たちがつらい思いをしたと聞くと、女性の指導者の養成も必要ではないかと思う。要支援者対策の強化は、町村単位でマニ

災害発生時は、被災された方に対し、きめ細かい配慮が求められる。特に災害時、要支援者の方々に対しては、国の「災害時要支援者の避難ガイ

ドライン」等を参考に早急に整備していく。

避難所生活においては、女性の方が力を発揮する点もたくさんあると思う。職員には、訓練の実施や、研修会等の積極的参加を促していきたい。

◎団塊世代の生きがい支援と協働の町づくり計画は

【A】支援事業実施要綱の立ち上げ

現在、本町の65歳以上の高齢者は4676名であり、人口の25.76%である。

55歳から65歳までが2434名で、いわゆる団塊の世代を含む人口分布の推移が見られるが、平成19年から始まる退職者の増加に対して、健康維

防災講演会（6月30日）



業・電算機システム関連企業・財政分析などの専門分野で活躍されている方、教育・保育・介護等有資格者の方などの情報ネットワーク作り、事業支援の計画等をされるのか伺う。

答弁（町長）

団塊の世代、全国では全人口の8%弱を占める巨大な集団となる。本町における対象人口は1504人で、全国平均と同様、全体の8%を占めており、これから団塊の世代の方が退職し、生きが

いのある生活を送るためには、地域活動に参加できる体制づくり、社会で活躍できる場づくりといったことが必要だと思っている。

現在、ボランティア活動を促進するための企画と支援事業実施要綱の検討を始めている。団塊の世代の方々が、行政と協働していけるようなことはないのかよく検討し、新たなネットワークの構築、事業の立ち上げの支援策等、必要なものは平成19年度当初予算の中で反映させていく。

持のための方策、経験豊かな専門職の方など、生きがいをもって地域の中で新たな活動・労働力としての期待活用、湯梨浜町らしい特徴のある支援施策が必要と思うが所見を伺う。

民間会社においての専門技術者・IT関連事



女性パソコン教室

Q 保育所自園調理実施は

A 実施に向けて検討



増井久美議員

化助成制度」の拡充として、対象年齢を引き上げる考えはないか伺う。

答弁（町長）

旧羽合町だけ実施されていない保育所の自園調理については、近日中に外部委員の検討委員会を設けて、実施に向けた具体的方法、スケジュール作りを行っていきたい。学童保育時間の延長については、クラブに登録している保護者の60%が望んでおられるので、指導員の募集を行い、体制が整い次第実施する。独自の子育て支援、若

者に魅力ある町づくりにについては現行の保育料の維持・一時保育・延長保育等その他多くの本町独自の取組みが挙げられるが、今後とも取組みを検証しながら子育て支援の充実を図り、若者とおとした「魅力ある町」をアピールしていきたい。乳幼児の医療費無料化の枠については、従来どおり県に準じて実施していく。

負担も増加し、国民いじめ・高齢者いじめが横行している。町民の生活を守るために国保税の引き下げをしようか。失業や倒産等で払いたくても払えない人を救うため、町独自の「申請減免制度」の拡充の考えについて伺う。

答弁（町長）

人口の高齢化などにより医療費が増えれば、国・県の補助金等があっても国保税を上げて財源を確保しなければならなので、今年度も税率の改定を行い、引き上げをお願いした。国保税を上げないためには、医療費の削減がポイントである。そのためには、定期的健康診断の充実や生活習慣病予防に対する取組み等が負担軽減につながる。所得における減額措置については、所得申告されるよう案内を送付しているが、独自の減免措置については他の被保険者、世帯に負担を強いることになり、現時点での制度化は困難である。

旧羽合町時代から「保育所に自園調理を」と訴えてきたが実現に至っていない。今回町長は、町長選挙の中で「保育所自園調理を行う」と明確に打ち出された。

「学童保育の時間延長」も決定された。

どちらも子育て支援として評価するが、決定に至った動機や経過、また今後の動きについて伺う。「子育て支援と若者にも魅力ある町づくり」を公約に掲げられたが、町長の「子育て支援」についての考えを伺う。

「子どもの医療費無料



給食の準備
(花見保育所)

Q 町独自の申請減免制度を

A 現時点での制度化は困難

つくっては

「公的年金等控除」の

成立したものである。

縮小や65歳以上の高齢者に適用されていた「老年者控除」の廃止で、多くの高齢者の方が増税となった。これらは2004年と2005年の通常国会に自民・公明が提案し、

所得が増えたと国民健康保険税や介護保険料も連動して増えることになり、来年は所得税・住民税の定率減税が全廃されるため、さらに増税となる。10月からは医療費

人口の高齢化などにより医療費が増えれば、国・県の補助金等があっても国保税を上げて財源を確保しなければならなので、今年度も税率の改定を行い、引き上げをお願いした。国保税を上げないためには、医療費の削減がポイントである。そのためには、定期的健康診断の充実や生活習慣病予防に対する取組み等が負担軽減につながる。

非課税から課税になり、国保税も介護保険料も連動して上がった高齢者に対しては、年金受給者の控除額減額に対して、国



中興寺地区の健康教室

9月定例会 議案審議

ケーブルビジョン東ほうき調査特別委員会を設置！

委員長に前田勝美議員、副委員長に寺地章行議員を選出

第7回定例会が平成18年9月29日から10月19日までの21日間の会期で開催された。湯梨浜町一般会計補正予算（第4号）など33議案を可決し、人権擁護委員の候補者の推薦は適任者と認めた。提出された議題は、全て原案どおり可決された。

決算認定

一般会計、国民健康保険事業特別会計ほか17特別会計と、水道事業会計の19会計決算はすべて認定され、一般会計では歳入総額129億5770万円、歳出総額は126億7407万円で、差引残額2億8363万円であるが、18年度に繰り越される繰越明許費1億6577万円を差し引き、1億1786万円の黒字決算であった。他の特別

9月定例会風景



会計については、13特別会計と水道事業会計で黒字となった。

（決算額については町報9月号を参照）

条例改正

☆湯梨浜町心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例

法改正に伴い、対象者に精神障害者保健福祉手帳2級の所持者を加えて、新たに「住所地利例」を明確化したもの。

☆湯梨浜町ホームヘルパ―派遣手数料の徴収に関する条例の一部を改正する条例

対象者を難病患者のみとし、高齢者は地域支援事業で、障害者は地域生活支援事業で対応するため除外したもの。

補正予算

☆一般会計補正予算

歳入歳出とも8086万2千円減額し、予算総額を87億3238万1千円とするもの。

主な内容は、人件費の減額、入札等による事業費確定の減額、国県等の補助事業費変更等による補正、前年度の国県補助金精算に伴う返納金、障害者自立支援法の施行に伴う予算措置、災害復旧工事など緊急な経費。（質疑については、常任委員会の審議内容を参照）

☆国民健康保険事業特別会計補正予算

歳入歳出とも1億1779万6千円増額し、予算総額を17億4107万2千円とするもの。

主な内容は、職員の異動に伴う人件費、高額医療費共同事業の制度内容変更に伴うもの、出産育

児一時金の増額、国庫支出金の返納金など。

☆介護保険特別会計補正予算

歳入歳出とも4955万1千円増額し、予算総額を14億2397万2千円とするもの。

主な内容は、職員の異動に伴う人件費、国庫支出金等の返納金など。（質疑については、常任委員会の審議内容を参照）

☆下水道事業特別会計補正予算

歳入歳出とも3万6千円増額し、予算総額を12億2048万6千円とするもの。

主な内容は、職員の異動に伴う人件費、交付税措置の見直しによる下水道債特別措置分の発行及び平準化債の増額発行に伴う予算措置。（質疑については、常任委員会の審議内容を参照）

☆橋津財産区特別会計補正予算

歳入歳出とも50万円増額し、予算総額を90万3千円とするもの。
主な内容は、橋津区の補助金。

☆長瀬財産区特別会計補正予算

歳入歳出とも50万円増額し、予算総額を153万4千円とするもの。
主な内容は、長瀬中部区の補助金。

☆農業集落排水処理事業特別会計補正予算

歳入歳出とも5万4千円減額し、予算総額を1億6421万8千円とするもの。

主な内容は、職員の異動に伴う人件費、平準化債の増額発行に伴う予算措置など。

☆簡易水道事業特別会計補正予算

歳入歳出とも156万7千円増額し、予算総額を6463万5千円とするもの。

主な内容は、職員の異動に伴う人件費、雷による被害の修繕費など。

その他

☆人権擁護委員

・椿 喜美子(田後)
適任者と認める。

委員会活動

総務常任委員会

☆8月25日
・ケーブルテレビの合併について
☆9月21日
・固定資産税過誤納金補填金支払要綱の制定について

・一般会計補正予算(第4号)について
・ケーブルテレビについて

☆10月16日
・水明荘について
☆10月17日
・第7回定例会提出議題について

・陳情審査について
(質疑については、常任委員会の審議内容を参照)

民生常任委員会

☆8月10日
・町内福祉施設の視察
・陳情審査について
☆9月12日
・障害者自立支援法の早急な抜本的改善を求める意見書(案)について

☆7月25日
・大雨による被害について
・指定管理者の指定について

☆8月7日
・農林災害について
・災害現場視察
☆10月16日
・水明荘について
☆10月18日
・第7回定例会提出議題について

・陳情審査について
(質疑については、常任委員会の審議内容を参照)

教育産業

常任委員会

民生常任委員会視察
(作業所ありんこ)



任委員会の審議内容を参照)

☆10月19日
・幼稚園バスについて

ケーブルビジョン東ほうき調査特別委員会

10月16日、本会議において、6人で構成するケーブルビジョン東ほうき調査特別委員会を設置した。HCVの取締役構成やTCBとの合併協議について調査する。

委員長 前田勝美
副委員長 寺地章行
委員 古村敏彦
酒井幸雄
光井哲治
浦木 靖

☆10月17日
・今後取組む調査項目について

☆11月15日
・HCV・TCB合併協議会の報告について

新設された
長瀬中部区6班の
ごみステーション



平成17年度 決算審査特別委員会

10月10日、本会議において、全議員で構成する平成17年度決算審査特別委員会を設置する。

委員長 光井哲治
副委員長 會見祐子

☆10月11日
・平成17年度の19会計決算に伴う質疑について

行財政改革調査 特別委員会

☆11月16日
・その後の経過について
・今後の取組みについて

教育施設利用調査 特別委員会

☆7月27日
・施設の統合整備に伴う跡地利用の有効活用に関する意見書について

☆11月15日
・その後の経過について
・今後の取組みについて

議会広報調査 特別委員会

☆9月29日
・編集についての申し合わせ事項

☆10月19日
・議会だより12月号の編集割当てについて

☆11月2日
・議会だより12月号の編集について

☆11月10日
・広報調査視察（日南町議会）

☆11月16日
・議会だより12月号の校正について

議会運営委員会

☆7月21日
・一般会計補正予算について

・指定管理者の指定について

・施設の統合整備に伴う跡地利用の有効活用に関する意見書について

☆8月22日
・第6回臨時会について

・第7回定例会について

☆9月22日
・第7回定例会について
・慶弔内規について
☆10月5日
・第7回定例会について
・議員の各種審議会委員



広報調査視察（日南町）

等の就任について
・慶弔内規について

☆10月11日
・HCV調査特別委員会
の設置について

鳥取県町村議会 議員研修会

とき 平成18年11月1日
ところ 北栄町大栄農村
環境改善センター
研修内容
「中東・中国・北朝鮮等
諸問題と日本の今後」
講師 東京大学大学院
教授 姜 尚中
「安倍新政権発足と今
後の政局」
講師 NHK解説委員
山本 孝

決算審査特別委員会審議内容 （10月11日）

〔Q〕 固定資産税等の未収金の徴収を広域連合に出している。どのような努力をされたか、広域連合に出したものはどのような判断で出したのか。

〔A〕 広域連合に出したものは90件ある。納税相談に來てもらったよう連絡したり、プロジェクトチームを作って徴収したりしたが、それにも全く反応が無いものについて出している。

〔Q〕 加工所の使用料について、加工所利用者は道具などを大事に扱い、頑張っている。使用者、使用料を増やすために地産地消など、町長はどう考えているか。

〔A〕 加工所を見に行った、皆さんが努力しておられる。何とか支援できないかと思っている。加工したものを販売ルートに乗せることはできないかと思っている、いいものはPRして販売促進したい。

〔Q〕 企画課関係でいろいろな事業にお金が出ている、どんな町にしているかという思いがあったか。また区長手当ての不公平感は。

〔A〕 地域が元気になるようにという思い、合併前にやっていた地域の行事はなるべく続けていきたい。区長手当ては均等割で一律5万円、戸数の多少で不満はあるかもしれないが、交付金のほうで世帯割をしている。

〔Q〕 クラブ活動（スポ少）、指導者の御礼はあるか。

〔A〕 クラブ活動については、教育課程として取り組んでいるのは水泳と陸上。それ以外はスポーツ少年団で、地域の方々に協力をいただいている。町内にスポーツ少年団は20団あり、各国に2〜3人の指導者、年間1人当たり55,000円で1団3人まで払っている。



行財政改革調査
特別委員会



鳥取県町村議会
議員研修会

常任委員会審議内容

総務常任委員会 10月17日

報告 ハワイ島の地震被害について、ティム君の名前でレビン補佐官にメールで状況を伺った。人的被害はなかったそうです。町長名でお見舞いのメールを送る。被害の状況によっては国際交流協会や日赤を通して町民にカンパを願いたい。

「一般会計補正予算の主な審議内容」

- Q 東郷庁舎施設整備事業工事請負費 1,961千円は何か。
- A 中央公民館から東郷庁舎間の地下に配線されているケーブルが劣化しており張り替えする工事費です。
- Q 業者見積りは1社であるが、金額の大きい修繕は2社以上がよいでないか。工事が適当かどうか、見積りが正しいかどうかという意味においても。
- A 契約している業者は資格社であり、年間の保守契約している。入札には保安協会も入って行っている。金額の大きい修繕については今後検討する。
- Q 臨時職員は庁舎で何人いるか。
- A 保健師の産休代替として子育て支援課に1名、地籍調査に1名、福祉企画課にレセプト点検に1名と栄養士が2名（子育て支援課1名、高齢者健康福祉課1名）の5名です。
- Q 栄養士が臨時職員という安易な考えでよいか。
- A 合併前には町長部局には栄養士は置かない方針であったが、合併後必要となり来年度は採用募集を行なう。
- Q 互助会に公的資金を補助されているが、来年度はどのような見解を持っておられるか。
- A やみ手当て、やみ休暇はない。町民に示して納得できる補助とし、町が出す経費は明確にしたい。

民生常任委員会 10月17日

「一般会計補正予算の主な審議内容」

- Q 住宅・建築物耐震改修等事業は田後保育所だけの計画であるが、他の保育所はどうか。
- A 他の保育所は時間をかけてやっていきたい。これから各保育所の運営をどうしていくかということを考えていく中で検討していく。
- Q 出産育児費は新聞に湯梨浜町と三朝町は10月からできるとあったが大丈夫か。
- A 今月中には制度ができる。
- Q 保健師の代替が臨時職員であるがいつまでか、即対応できるように登録制はできないか。
- A 8月上旬に産休に入り、おそらく育休もとりあえず3月まで計上している。登録制にしているが保健師の登録は全くない。登録制は大切であり必要である。

- Q 本町には保健師が何人いるか。臨職で対応できるのか。看護師の方がよいのでないか。
- A 9名登録（内1名は管理職）してあるが、そのうち3名が産休と育休で、実働体制は5名である。事務職では保健師の業務はできないが、健診業務は医師の補助であり事務職でもできる。

「介護保険特別会計補正予算の主な審議内容」

- Q 緊急通報は全体で年に何件あるか。
- A 通報実績は年に数件であり殆どが誤報である。1千万円近い予算をかけるなら他にいい方法があるのではないかと内部で検討している。例えば、愛の輪協力員さんで対応すれば1/3で済む。

教育産業常任委員会 10月18日

「一般会計補正予算の主な審議内容」

- Q 農産物加工所運営経常経費で保健所の関係により商売用と私用とあるが、商売用として出来る施設はどこか。
 - A 保健所検査でクリアして営業ができる施設は、「活性化センターはまなす」しかない。
 - Q 3箇所加工はしているので、羽合や東郷でも商売用に出来るようにお願いしたい。
 - A 利益の低い状況で利用されている。JAや夢マート等と協議し検討したい。
 - Q 青少年育成対策事業での安全ベスト着用人数は。
 - A 東郷小・羽合小に各100着、泊小に20着あり人数は把握してない。一般の人が学校より借りている。
 - Q 通学路の街灯整備は。冬になると午後4時には暗くなるが対策は。
 - A 各小学校に危険箇所を調べていただいている。それから協議する。
- 意見 何でもコンサルタント任せである。見積りが甘い。職員で出来ないか。町長も職員の質の向上を言っている。わが町のことは職員一同で知恵を出してやって欲しい。

「下水道事業特別会計補正予算の主な審議内容」

- Q 温泉水はどう考えているのか。公平性を考えれば矛盾している。早急にと言っているが10年以上も経過している。
- A 旧町の約束ごとで旅館は改造時に区別することになっている。個人は環境面においても促進したい。公共・農集・温泉水と合わせて取組み、使用料改定時による説明会で話し機運を活かしお願いしていきたい。

陳 情 審 査

９月定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定した。

件 名	陳 情 者	審査結果
「認定子ども園」の拙速な創設に反対する意見表明を求める要望	鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	趣旨採択
酪農・集落営農・WTO農業交渉に関する陳情書	全日本農民組合鳥取県連合会 会長 鎌谷 広治 ほか2名	採 択
中国における法輪功学習者の臓器摘出の実態調査を求める陳情書	特定非営利活動法人日本法輪大法学会 代表 鶴園 雅章	不 採 択
「品目横断的経営安定対策」にかかわる陳情	農民運動鳥取県連合会 代表者 東田 久	趣旨採択
「集配局の廃止再編計画に反対する意見書」採択に関する陳情について	全国労働組合総連合 議長 坂内 三夫	趣旨採択
被爆者援護法改正及び原爆症認定制度の抜本的改善を求める陳情書	反核・平和の火リレー 鳥取県実行委員会 実行委員長 岩井 良	採 択
市町村の国民保護計画作成に反対する陳情書	憲法擁護・平和・人権フォーラム鳥取県 代表 国歳 眞臣	継続審査
障害者の生活と福祉の危機打開を求める陳情書	「障害者自立支援法の抜本改善を求める鳥取県緊急集会」実行委員会 実行委員長 小谷 欣之輔	採 択
教育基本法「改正」法案の廃案を求める意見書の採択と教育基本法の理念を学校と社会に生かすことを求める陳情	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	不 採 択
日本郵政公社の郵便局再編計画に関する陳情書	郵政産業労働組合中国地方本部 委員長 溝上 義健	趣旨採択

議員発議で政府に意見書を提出

☆ 障害者自立支援法の早急な抜本的改善を求める意見書

提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣

☆ 被爆者援護法改正及び原爆症認定制度の抜本的改善を求める意見書

提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣

☆ 道路特定財源制度の堅持を求める意見書

提出先：内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

議員発議で「湯梨浜町飲酒運転撲滅宣言」を決議



湯梨浜町議会では、平成18年第7回定例会において、下記のとおり「湯梨浜町飲酒運転撲滅宣言」を決議しました。この決議により、飲酒運転という悪習のない地域社会を目指します。

「湯梨浜町飲酒運転撲滅宣言」に関する決議

全国で飲酒運転による交通死亡事故が異常に多発しており、多くの尊い命が失われていることは、誠に残念であります。

交通事故のない安全で安心して暮らせる社会の実現は、町民すべての願いであり、私達は、こうした現状を真剣に受けとめ、町民一人ひとりが飲酒運転による交通事故の悲惨さを深く認識すると共に、運転者の交通安全意識向上はもとより、家庭や職場さらには地域社会全体が一体となって、「飲酒運転は絶対にしない・させない」という強い意志を示さなければならない。

そして、相互に戒めあい、このような悪習を一掃する地域社会をめざすため、湯梨浜町議会は、ここに飲酒運転撲滅を宣言する。

以上、決議する。

平成18年10月19日

鳥取県湯梨浜町議会

新議員の紹介



河田洋一 議員

地域の発展と豊かな社会の実現のために、住民の皆さんと一体となって取り組んでいきます。また、「人の心の痛み」のわかる、本音で話のできる議員を目指して一生懸命頑張りたいと思います。
若輩者ではありますが、今後ともご指導の程よろしく願います。

お詫び

議会だより第9号に掲載の「旧家」の投書について回答いたします。

意図的に書いたものではなく、誤解をまねくような文句であればお詫びいたします。

(湯梨浜町議会議長)



満艦飾の漁船団（泊漁港内）

とまり海上御幸

かいじょうみゆき

海の安全と大漁を祈願して行われる勇壮な海上御幸は、泊地区ならではの行事です。派手な大漁旗やのぼり旗を付けた満艦飾の漁船団が海をゆく姿は、泊の真夏の風物詩となっています。泊漁港を出発し、泊地域の海をまわります。

後島の甌穴

うしろじま おうけつ

甌穴とは、岩場に寄せる波により、石や砂が同じところを回り、海辺の岩と接触して浸食されてできた丸い穴のことです。
泊地区甲亀山北岸（後島）には多数の甌穴を見ることができます。



とまりグラウンドゴルフのふる里公園の下の海岸

編集後記

前町長の病氣療養、そして辞職、長期間町長不在が続いていましたが、湯梨浜町のかじ取り役に、前助役の宮脇正道新町長が誕生しました。「げんき・いきいき・かがやきのまち」の実現に向けがんばっていただきたいと思います。新町長も決まり住民の皆様の関心は助役人事でしょうか？

ところで議会では2人の女性議員が活躍されています。女性の視点でのさまざまな質問、意見等を聞いて、男性の視点では見えない部分が多くあることを実感しました。今回より委員の1人として編集にたずさわることになり、これが初仕事、皆様に読みやすい議会だよりになればと思います。男女を問わずご意見をお寄せください。

（記 浜中）

議会の傍聴をお気軽に

皆さんが選んだ議員が、どんな活動をしているか、また、身近な問題がどのように処理されているか関心がありませんか。

議会の日程などは、議会事務局にお問い合わせください。

議会及び議会事務局に関するご意見をお聞かせください。

☎35-5341

メール gikai@yurihama.jp

《あなたの声をお待ちしています》

議会広報調査

特別委員会

委員長	竹中壽健
副委員長	増井久美
委員	會見祐子
〃	村中隆芳
〃	浜中武仁